

科学に関心のある子供を育てるサイエンスカーラボを実施

長崎大学等の教員が、小学校及び中学校を訪問し、日頃の授業では体験できない先端科学等の実験や講義を実施し、科学に対する学習意欲の一層の喚起と児童生徒のスキルアップを図ることを目的としたサイエンスカーラボ（小中学生対象の訪問授業）を、10月29日は壱岐市立初山小学校にて、11月14日は壱岐市立沼津小学校にて実施しました。

村田比呂司教授が、「歯とお口の健康」について学ぶ機会を提供するために、唾液の検査をしたり、噛む力を調べるガムを噛んだりと、様々な実験を行い、児童に多くのことを学んで頂きました。

また、高大連携事業の一環（クラスラボ）として、9月3日に長崎県立豊玉高等学校、11月7日に長崎県立五島高等学校において、高校生を対象に口腔の健康についての訪問授業も行いました。

※サイエンスカーラボ（小中学生対象の訪問授業）は、長崎大学卒業生の下村脩博士がノーベル化学賞を受賞されたことを記念して、長崎大学と長崎県教育委員会が連携し、長崎県内の自然科学教育（理数教育）を支援するための事業「未来の科学者発掘プロジェクト（JELLYFISH プロジェクト）」の中の一つの事業です。

